



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月1日
上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社
 コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経財本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	94,410	△12.2	3,286	△17.6	4,639	△5.4	2,034	△12.0
2020年3月期第3四半期	107,538	△5.0	3,990	△48.6	4,907	△46.1	2,311	△54.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 6,173百万円 (308.7%) 2020年3月期第3四半期 1,510百万円 (△69.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	41.44	—
2020年3月期第3四半期	47.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	170,177	85,097	45.6	1,579.46
2020年3月期	166,800	82,019	44.9	1,524.62

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 77,526百万円 2020年3月期 74,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,300	△9.7	4,300	△25.5	6,200	△8.4	3,000	3.2	61.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	49,757,821株	2020年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	673,943株	2020年3月期	673,253株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	49,084,355株	2020年3月期3Q	49,085,196株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済情勢は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により経済活動が制限され、景気低迷が続いております。

各国における感染拡大の防止策と経済活動維持の政策により回復の兆しが見えてきたものの、先行き不透明な状況は続くものと見込まれます。

このような事業環境のもと、当社事業においては特に自動車・建設機械業界向け事業での販売不振の影響を受けました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は944億10百万円(前年同期比12.2%減)、営業利益は32億86百万円(前年同期比17.6%減)、経常利益は46億39百万円(前年同期比5.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億34百万円(前年同期比12.0%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、中国市場に続き世界全体でも回復の兆しが見えたものの、落ち込みを補うまでには至らず、自動車向け製品がその影響を広く受けたことにより、当セグメントの売上高は551億2百万円(前年同期比16.7%減)、営業損失は3億48百万円(前年同期は営業利益16億52百万円)となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、一部で回復傾向が見えたものの、インドのロックダウンやアジアパシフィック・日本での顧客の操業縮小・停止等の影響により販売が減少し、当セグメントの売上高は200億8百万円(前年同期比14.7%減)となりました。営業利益は、前年同期に実施した赤字受注に伴う引当を当期は計上しなかったこともあり17億78百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

[半導体業界向け事業]

当事業は、5G、データセンター向け投資などが堅調であったことにより、当セグメントの売上高は65億20百万円(前年同期比28.5%増)、営業利益は66百万円(前年同期は営業損失6億36百万円)となりました。

[船用業界向け事業]

当事業は、米国をはじめ各地域において修繕部品の販売が減少し、当セグメントの売上高は78億86百万円(前年同期比2.9%減)となりました。営業利益は新造船向け販売の採算良化等により14億46百万円(前年同期比46.8%増)となりました。

[航空宇宙業界向け事業]

当事業は、衛星向け輸入品の販売増加が寄与したことにより、当セグメントの売上高は48億93百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は3億37百万円(前年同期比34.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第3四半期連結会計期間末の資産は1,701億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億76百万円増加しました。これは主として現金及び預金が50億69百万円増加した一方、有形固定資産が10億98百万円減少したことによるものであります。

[負債]

当第3四半期連結会計期間末の負債は850億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億98百万円増加しました。これは主として短期借入金が増加した一方、長期借入金が増加した一方、買掛金が5億63百万円、賞与引当金が5億38百万円、電子記録債務が4億58百万円減少したことによるものであります。

[純資産]

当第3四半期連結会計期間末の純資産は850億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億78百万円増加しました。これは主として為替換算調整勘定が27億18百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2021年1月27日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,438	26,508
受取手形及び売掛金	27,152	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	27,406
電子記録債権	3,092	3,578
商品及び製品	7,075	6,913
仕掛品	5,794	6,448
原材料及び貯蔵品	9,699	9,277
その他	6,419	5,457
貸倒引当金	△103	△273
流動資産合計	80,567	85,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,666	23,294
機械装置及び運搬具(純額)	24,755	24,091
その他(純額)	13,512	13,450
有形固定資産合計	61,934	60,835
無形固定資産		
のれん	2,167	1,807
その他	2,467	1,990
無形固定資産合計	4,635	3,797
投資その他の資産		
投資有価証券	11,365	12,186
その他	8,405	8,153
貸倒引当金	△108	△112
投資その他の資産合計	19,663	20,227
固定資産合計	86,232	84,860
資産合計	166,800	170,177

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,503	6,940
電子記録債務	3,031	2,572
短期借入金	14,442	18,706
未払法人税等	1,207	972
賞与引当金	2,603	2,064
その他の引当金	1,025	699
その他	11,395	11,915
流動負債合計	41,208	43,871
固定負債		
長期借入金	22,690	20,527
引当金	307	316
退職給付に係る負債	18,890	18,850
その他	1,684	1,514
固定負債合計	43,572	41,208
負債合計	84,780	85,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,310	11,310
利益剰余金	66,745	66,248
自己株式	△225	△226
株主資本合計	88,320	87,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	292	348
為替換算調整勘定	△8,095	△5,376
退職給付に係る調整累計額	△5,682	△5,268
その他の包括利益累計額合計	△13,485	△10,297
非支配株主持分	7,184	7,571
純資産合計	82,019	85,097
負債純資産合計	166,800	170,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	107,538	94,410
売上原価	84,409	73,698
売上総利益	23,128	20,712
販売費及び一般管理費	19,138	17,425
営業利益	3,990	3,286
営業外収益		
受取利息	198	183
受取配当金	21	17
持分法による投資利益	1,071	1,173
その他	513	747
営業外収益合計	1,804	2,121
営業外費用		
支払利息	304	306
為替差損	312	39
寄付金	6	1
操業休止費用	—	258
その他	264	162
営業外費用合計	888	769
経常利益	4,907	4,639
特別利益		
固定資産売却益	22	2
特別利益合計	22	2
特別損失		
固定資産売却損	42	5
固定資産除却損	127	42
特別損失合計	169	47
税金等調整前四半期純利益	4,759	4,594
法人税等	1,638	1,559
四半期純利益	3,121	3,035
非支配株主に帰属する四半期純利益	810	1,001
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,311	2,034

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,121	3,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	55
為替換算調整勘定	△838	2,240
退職給付に係る調整額	436	502
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,199	338
その他の包括利益合計	△1,611	3,137
四半期包括利益	1,510	6,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	863	5,222
非支配株主に係る四半期包括利益	646	951

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来出荷時に収益を認識しておりました販売の一部について、検取時に収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が358百万円、売上原価が324百万円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ33百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は76百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染拡大の影響が2021年3月期末まで継続すると仮定して繰延税金資産の回収可能性を見直し、その一部を取り崩しました。収束時期については依然先行き不透明な状況ではありますが、2021年3月期以降も影響は継続するものと仮定を置き直し、足元の自動車・建設機械業界向け事業の業績回復も踏まえ、当第3四半期連結会計期間において繰延税金資産の回収可能性を再度見直しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	舶用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	66,181	23,466	5,074	8,122	4,692	107,538	—	107,538
セグメント間の内部売上高 又は振替高	109	103	—	7	—	219	△219	—
計	66,290	23,570	5,074	8,129	4,692	107,758	△219	107,538
セグメント利益又は損失（△）	1,652	1,721	△636	985	251	3,974	15	3,990

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額15百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	舶用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	55,102	20,008	6,520	7,886	4,893	94,410	—	94,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	99	100	—	1	—	201	△201	—
計	55,202	20,108	6,520	7,888	4,893	94,612	△201	94,410
セグメント利益又は損失（△）	△348	1,778	66	1,446	337	3,281	5	3,286

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額5百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。